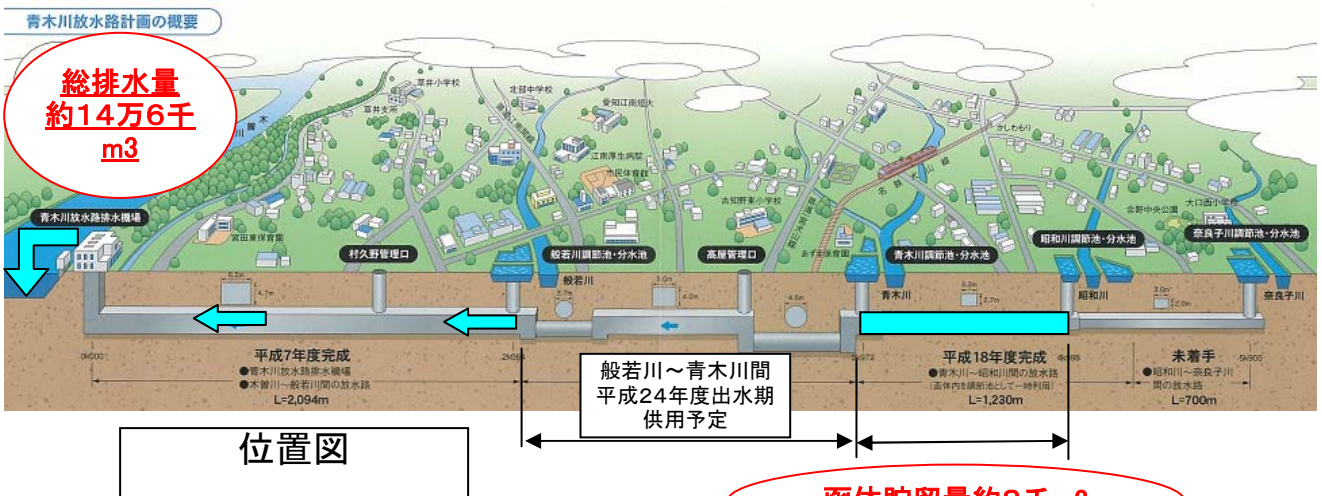


平成23年8月23日豪雨で 青木川放水路稼働

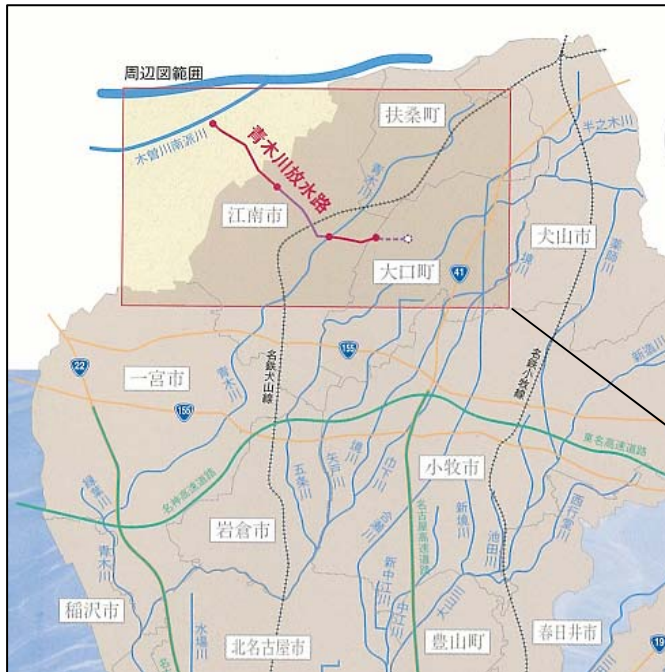
秋雨前線の影響で22日深夜から23日朝にかけて、東海地方は局地的な豪雨に見舞われ、愛知県一宮市では時間雨量が91mmと非常に強い雨を観測しました。

この雨で河川が増水したことから、青木川放水路により般若川の洪水カットを行うことで、下流の浸水被害を軽減しました。般若川から分流された水は青木川放水路を流下し、青木川放水路排水機場で木曾川へポンプ排水されます。また、青木川から昭和川の間で放水路にて函体貯留を行いました。

青木川放水路排水機場では、2時44分にポンプ運転を開始し、6時04分に停止するまでの間、約14万6千m³の排水を行いました。また、青木川～昭和川の函体貯留では、約8千m³の貯留を行いました。



函体貯留量約8千m³



○総排水量
146,050m³・・・25mプール約260杯分
※小学校のプール(幅15m深さ1.5m)として
計算しています

○青木川放水路排水機場ポンプ排水時間
(23日)2時44分～6時04分

○函体貯留量(調整池の効果)
8,161m³・・・25mプール約15杯分

周辺図

